

令和7年度 瀬戸内市社会福祉法人等地域貢献活動推進協議会 事業報告

1. 協議会の運営

(1) 総会の開催

[会員加入状況]：市内社会福祉法人等（15法人が協議会へ加入）

月 日	内 容	出 席 者
令和7年5月26日	1) 令和6年度事業報告、決算報告、 監査報告について 2) 令和7年度事業計画、予算について [その他] ・令和7年度会費について ・令和7年度フードドライブ事業実施について	17名 (来賓1名、事務局 7名含む)



2. 部会の運営

(1) 暮らしサポート事業部会の開催

月 日	内 容	出 席 者
令和7年9月10日	1) 令和7年度 暮らしサポート事業部会の 事業について 2) 生活困窮者緊急支援金貸付事業について 3) 片付け事業について [その他] ・社会福祉法人等福祉の就職フェア in せと うちの報告について ・災害ボランティアセンター設置運営訓練の 案内について	12名 (事務局7名含む)
令和8年3月3日	1) 令和7年度 暮らしサポート事業部会の について事業報告 2) 次年度の事業計画について (意見交換)	10名 (事務局7名含む)



(2) 制度の狭間問題解決プロジェクト会議（くらしサポート事業部会）の開催

月 日	内 容	出 席 者
令和7年12月19日	1) 新規事業について ・生活困窮者緊急支援金貸付事業 ・片付け事業 2) 既存事業について ・フードドライブ事業 ・しごと応援事業 ・その他個別支援に係る協議、検討（居場所への協力や課題検討など）	11名 （事務局7名含む）



【くらしサポート事業部会の実績】

①フードドライブ事業について

- ・会員法人へ食料品の寄付を依頼し、瀬戸内市生活相談支援センターが行う生活困窮者支援活動や市内で行われるこども食堂や居場所等に協力をしました。

【実 績】

- ・寄付個数： 505 品
- ・食料支援件数：個人 136 件/ 団体 9 件



②しごと応援事業について

※ご寄付いただいた食料品の写真

- ・ひきこもりや未就労の方等に、ボランティアや就労等を体験する場として会員法人での受入について協力するものです。（※令和7年度は利用実績なし。）

③その他個別支援に係る協議、検討について

- ・ひきこもりサポートセンターひなた等が行う居場所づくりに協力するものです。
- ・令和7年度は、ひきこもりサポートセンターひなたの利用者と会員法人の利用者さんとの交流を行いました。

【実 績】

- ・1法人

④片付け事業について

- ・市内で生活し、会員法人が関わっている方に対し、自宅で生活をしていくための生活環境を整えることを目的に自宅の片付け等を行いました。

【実績】

- ・ 1件

月 日	内 容	参 加 法 人
令和7年4月7日	(事例概要) 母と息子の二人暮らし。退院に合わせて早期に環境整備が必要となった事例。 (目的) 玄関・寝室・洗面所・台所の動線確保と寝室へのベッドの設置。	4法人8名 その他1名

⑤生活困窮者緊急支援金貸付事業について

- ・生活困窮者等を制度につなぎ自立の促進を図ることを目的に、生活困窮者緊急支援金貸付を行うものです。(※令和7年度は利用実績なし。)

(3) 地域サポート事業部会の開催

月 日	内 容	出 席 者
令和7年9月9日	1) 令和7年度 地域サポート事業部会の中間報告について 2) 社会福祉法人等福祉の就職フェア in せとうちの振り返りについて	11名 (事務局7名含む)
令和8年3月2日	1) 令和7年度 地域サポート事業部会の事業報告について [協議事項] 1) 次年度の事業についての協議 (意見交換)	11名 (事務局7名含む)



(4) 制度の狭間問題解決プロジェクト会議（地域サポート事業部会）の開催

月 日	内 容	出 席 者
令和7年4月8日	1) 社会福祉法人等福祉の就職フェア in せとうちの実施に向けて [その他] 1) 暮らしサポート事業部会（片づけ事 業）の先行実施について	11名 (事務局7名含む)

【地域サポート事業部会の実績】

①備品貸出事業について

- ・市内地域団体から備品の貸出の申請に対応しました。また、新規会員法人が所有する備品の情報について更新を行いました。

【実 績】

- ・申請件数： 26 件
- ・申請団体： 14 件
- ・貸出件数： 34 件



②瀬戸内市災害ボランティアセンター設置運営訓練の共催

- ・令和7年11月1日に、協議会の事務局である瀬戸内市社会福祉協議会が主催する災害ボランティアセンター設置運営訓練に共催として参画し、センター運営の演習を行いました。

【実 績】…参加人数

- ・市社協職員 … 32名
 - ・行政職員 … 2名
 - ・ささえ愛ネットせとうち … 3名
 - ・地区社協と地域関係者 … 18名
 - ・ボランティア連絡協議会 … 1名
 - ・県社協及び他市町村社協 … 11名
- 合計：67名**



③社会福祉法人等福祉の就職フェア in せとうちの実施

- ・さまざまな事情で就労が困難となっている市民の方に対し、ゆめワークせとうち無料職業紹介所との共催で、就職フェアを開催し雇用の機会の創出及び会員法人のPR活動を行いました。ささえ愛ネットせとうちからは10法人が参加をしました。



【実 績】…参加人数

- ・参加者数 37 名 (事前申し込み 22 名、 当日参加 19名) (※内 不参加4名)
- 【内訳】 一般(社会人) 26 名 学生 11 名
- ※学生は、大学生1名、職業訓練校1名、日本ITビジネスカレッジ9名

※採用者数 採用者：4名
 職 種：介護職員（3名）、生活支援員（1名）
 雇用形態：正職員（2名）、パート（2名）

3. 役員会の運営

(1) 役員会の開催

月 日	内 容	出 席 者
令和7年9月29日	1) 令和7年度 暮らしサポート事業部会の報告について 2) 令和7年度 地域サポート事業部会の報告について [その他] ・ふくしのまちづくりフェスタについて	11名 (役員4名 事務局7名) 
令和8年3月23日	1) 令和7年度 地域サポート事業部会の報告について 2) 令和7年度 暮らしサポート事業部会の報告について 3) 次年度の事業計画(案)・予算(案)について [その他] ・総会、役員改選について	12名 (役員5名 事務局7名) 

4. 広報啓発活動の実施

① SNS等による事業周知

・協議会の事務局である瀬戸内市社会福祉協議会の公式SNS、クイックリイ、山陽新聞等を活用し、ささえ愛ネットせとうちの事業について情報発信を行いました。

② ささえ愛ネットせとうちの事業紹介

・令和7年8月5日、高梁市社会福祉法人連絡会の研修会において、ささえ愛ネットせとうちの事業説明を行いました。



③第1回 ふくしのまちづくりフェスタでの事業紹介

・令和8年3月7日、協議会の事務局である瀬戸内市社会福祉協議会が主催する「第1回ふくしのまちづくりフェスタ」に共催として参画し、ささえ愛ネットせとうちの事業紹介を実施しました。



ふくし活動コンテスト



しょうちゃんも大活躍！



おもちゃおるかなあ...
(おもちゃの病院)



きらめきアート作品展



おばあちゃん、
どうしたの？
(あったか声かけ体験)



スタンプラリーに挑戦！



ふくしの まちづくりフェスタ

を開催しました



令和8年3月7日（土）に、ふくしのまちづくりフェスタを開催しました。

当日は、総勢150名の方にお越しいただきました！

ご参加いただいたみなさま、ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました！

ふくし活動コンテスト 結果発表

- みんなで集まって楽しむ会 : ご近所パワースポット賞
- 瀬戸内nana赤ちゃん食堂 : 福祉のオアシス賞
- おおかずこ
太田和子さん&しょうちゃん : 地域を笑顔にしたで賞
- さわやかサロン : ご近所パワースポット賞
- てんころ庵 : 地域を笑顔にしたで賞
- 玉津地区社会福祉協議会 : お結び賞 🍷
- かすうみか
嘉数実加さん : 優しさの伝道師賞



素敵な発表を
ありがとうございました！

5. 令和7年度の成果と次年度に向けての課題

(1) 令和7年度の成果

①新規事業の実施

- ・令和6年度に、制度の狭間問題の解決を目的としたプロジェクト会議を立ち上げ、関係機関との情報共有及び社会資源の創出に向けた意見交換を重ねてきました。その結果、令和7年度には、新たな取り組みとして、社会福祉法人等福祉の就職フェア in せとうち及び片付け事業を実施することができました。生活困窮者緊急支援金貸付事業については、実績こそなかったものの、支援制度へ円滑につなげるための貸付制度を整備できたことは、大きな成果であると考えます。

(2) 次年度に向けての課題

①事業のさらなる発展に向けて

- ・令和2年9月29日に、ささえ愛ネットせとうちが設立され、5年が経過しました。当初は、備品貸出事業の実施に向けた冊子の作成やフードドライブ事業からスタートしましたが、各部会において協議・検討を重ねる中で、生活困窮者やひきこもりの方への支援につながる資源等が徐々に整備されてきました。
- ・一方で、通常業務に加えて公益的な取り組みを実施せざるを得ない状況もあり、専門性の高い支援が求められる中、できることが限られており、制度の狭間で困っている方にとって本当に必要な支援が十分に提供できていない課題があります。
- ・市民の困りごとに対して、何をすべきか、何ができるのか会員法人が知恵を出し合い、資源の整備や体制の充実に努めていく必要があります。
- ・ささえ愛ネットせとうちの事業は、生活困窮者やひきこもりの方などを対象とした事業が多く、短期間で成果を数値化することが難しく、評価が困難であるという側面があります。そのため、学識経験者等による事業評価を受けることで、見えにくい課題や改善点を明らかにし、活動内容の見直しとさらなる発展につなげていくための方向性を明らかにしていく必要があると考えます。